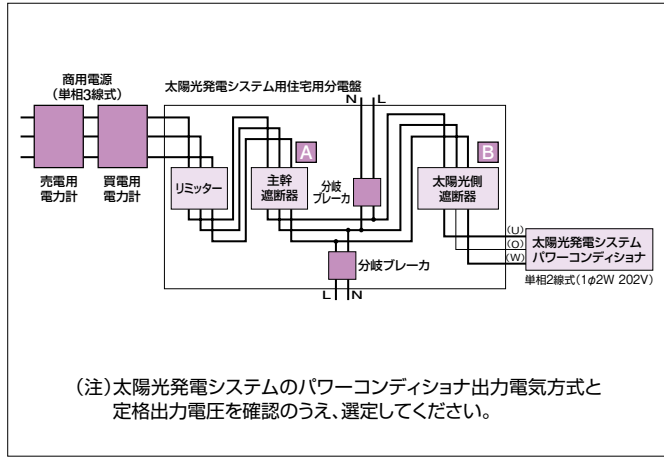


リミッター付の場合

1 [2次送りタイプ]
分電盤の末端に太陽光発電システムを接続する場合

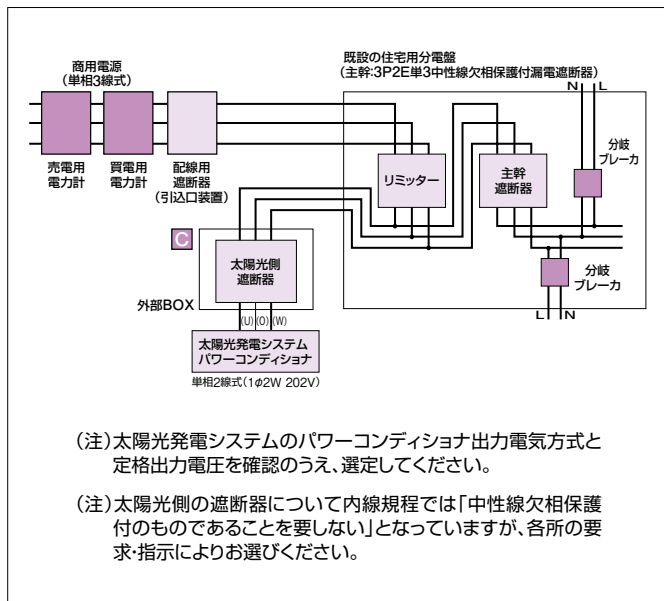
回路例1



(注)太陽光発電システムのパワーコンディショナ出力電気方式と定格出力電圧を確認のうえ、選定してください。

2 [1次送りタイプ]
既設の分電盤の手前(電源側)に太陽光発電システムを接続する場合
(既設回路に太陽光発電システムを設置する場合)

回路例2



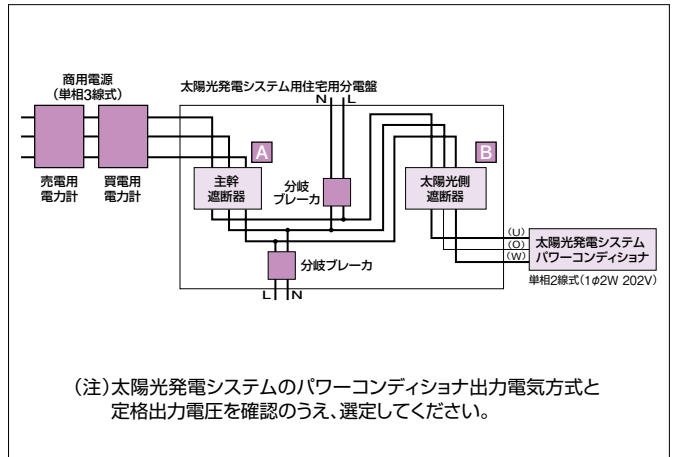
(注)太陽光発電システムのパワーコンディショナ出力電気方式と定格出力電圧を確認のうえ、選定してください。

(注)太陽光側の遮断器について内線規程では「中性線欠相保護付のものであることを要しない」となっていますが、各所の要求・指示によりお選びください。

リミッターなしの場合

1 [2次送りタイプ]
分電盤の末端に太陽光発電システムを接続する場合

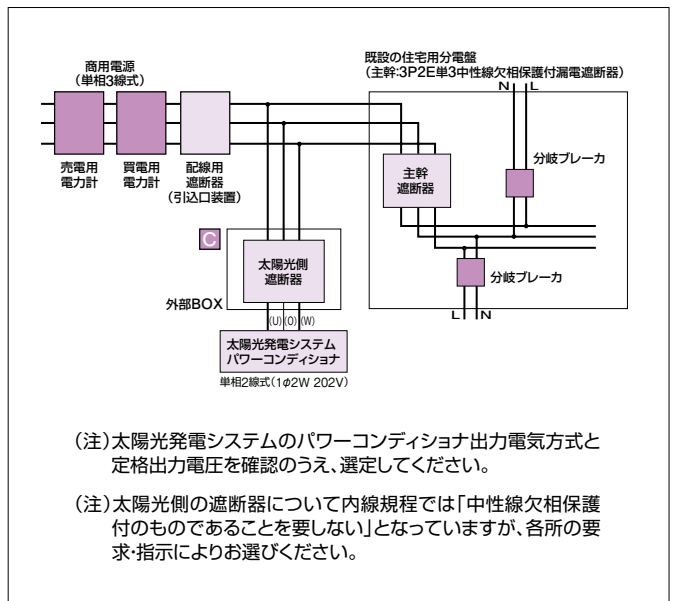
回路例1



(注)太陽光発電システムのパワーコンディショナ出力電気方式と定格出力電圧を確認のうえ、選定してください。

2 [1次送りタイプ]
既設の分電盤の手前(電源側)に太陽光発電システムを接続する場合
(既設回路に太陽光発電システムを設置する場合)

回路例2



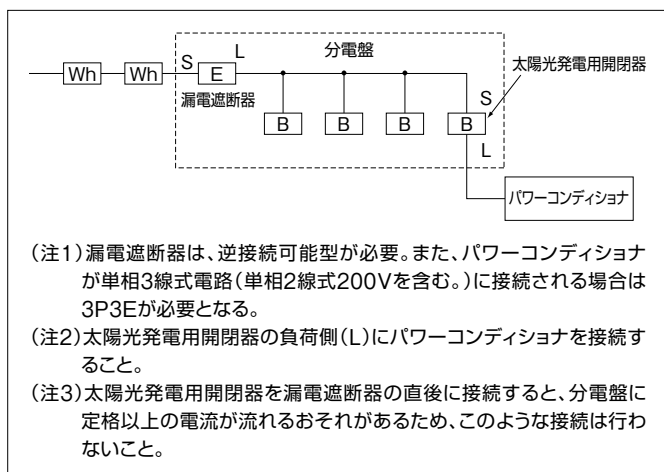
(注)太陽光発電システムのパワーコンディショナ出力電気方式と定格出力電圧を確認のうえ、選定してください。

(注)太陽光側の遮断器について内線規程では「中性線欠相保護付のものであることを要しない」となっていますが、各所の要求・指示によりお選びください。

内線規程 JEAC8001-2005「住宅用系統連系型太陽光発電設備の施設」

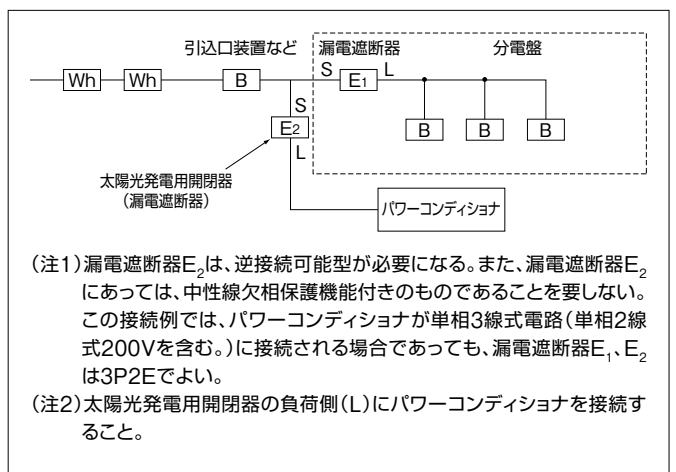
3588-3(資料3-5-5)から

接続例1



(注1) 漏電遮断器は、逆接続可能型が必要。また、パワーコンディショナが単相3線式電路(単相2線式200Vを含む。)に接続される場合は3P3Eが必要となる。
(注2) 太陽光発電用開閉器の負荷側(L)にパワーコンディショナを接続すること。
(注3) 太陽光発電用開閉器を漏電遮断器の直後に接続すると、分電盤に定格以上の電流が流れるおそれがあるため、このような接続は行わないこと。

接続例2



(注1) 漏電遮断器E₂は、逆接続可能型が必要になる。また、漏電遮断器E₂にあっては、中性線欠相保護機能付きのものであることを要しない。この接続例では、パワーコンディショナが単相3線式電路(単相2線式200Vを含む。)に接続される場合であっても、漏電遮断器E₁、E₂は3P2Eでよい。
(注2) 太陽光発電用開閉器の負荷側(L)にパワーコンディショナを接続すること。

スタンダード
オール電化対応
発電システム対応

機能付

EV・PHV回路付

官公庁対応

WHボックスの他

素形分岐ブレーカ露

オプション

資料

外形寸法図

生産終了品